平成 23 年度決算

和寒町の財政は健全です

平成 23 年度決算に基づく健全化判断比率の算定した結果をお知らせします。

この各比率の算定値が基準を超えると、健全化を図るために計画をたてて国や道の監督指導を受けることになり、町の歳出も制限されることになります。

和寒町の算定結果は下表のとおりで、いずれの指標についても良好な状態の健全団体となっています。

【● 印は和寒町の位置を示しています】

【財政健全化判断比率について】

	判断基準と和寒町の状況		
①実質赤字比率 実質赤字額が標準財政規模に占める割合	健全団体 0% ● **赤字額なしのため比率なし**	早期健全化団体 15%以上	財政再生団体 20%以上 財政悪化
②連結実質赤字比率 全会計（一般会計+公営事業会計）の連結実質赤字額が標準財政規模に占める割合	健全団体 0% ● **赤字額なしのため比率なし**	早期健全化団体 20%以上	財政再生団体 40%以上 財政悪化
③実質公債費比率 一般会計が負担する公債費（借金）が標準財政規模に占める割合	健全団体 0% ● **6.7%**	早期健全化団体 25%以上	財政再生団体 35%以上 財政悪化
④将来負担比率 一般会計等の将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合	健全団体 0% ● **負担比率なし**	早期健全化団体 350%以上	財政悪化

【経営健全化判断比率について】

	判断基準と和寒町の状況	
⑤資金不足比率 各公営企業会計（病院事業、簡易水道事業、公共下水道事業）の資金不足比率が事業規模に占める割合	健全団体 0% ● **資金不足なし**	経営健全化団体 20%以上 財政悪化